

前  
後  
期  
期  
松  
阪  
大  
学  
年度( ) 試験答案用紙

科目名	教養ゼミ-	学年	1	組	A	番号	93005	参照物件	得点	
担当者名	石田 修二	氏名	石田 修二							※

PKOについて  
 ~ PKF ~~が~~ 重武装化を! ~  
 PKO活動は、国連の旗の下に紛争当事者の間に入って、武力衝突を防ぐことを目的にしている。しかし、旧ユーゴヤカンボジアでの活動を見ると、現下のPKOの組織体系でその目的の達成は難しいと思う。特にPKOの中のPKFは特に考え直すべきである。  
 PKFは一応「軍」の名前がついてはいるものの、戦車や攻撃ヘリといった装備はなくほとんどが装甲車や輸送トラックといった軽装備部隊である。この装備では、武装した対立勢力の間に入って入ることは無理がある。旧ユーゴでは国連防護軍が展開しているが、紛争は止まらなく重武装した武力勢力の前にお手上げの状態である。PKFは紛争地での警察活動だけでよいとの意見もあるが、今の装備ではその活動も困難である。PKFは平和な地域に派遣されるものではなく、危険な場所へ派遣されるのである。

PKOはアメリカの衰退によってアメリカにかわる「世界の警察官」なるものがある。なるほど、その「警察官」たるにふさわしい装備、すなわち重武装がPKFにとって必要である。その意味で今、マリヤで展開しているPKFは画期的であり、今後はこのようなPKFが必要であると思う。

重武装の

- ・ 言いたいことはよくわかるが、ショートフォームとしてはやはり「車」が欲しい。重武装に 敵対勢力の 強さを増すには「車」がある、の多用はどうか。